

大宮中学校美術科《第2学年》年間指導計画

美術科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知・技 は、「知識・技能」、発・鑑 は、「思考・判断・表現」の発想と鑑賞、態 は「主体的に取り組む態度」

月	題材名等と配当時間	題材目標	指導内容	観点	評価規準
4	■オリエンテーション (1時間)	美術科の学習について意欲を高める。	○心構え 授業の内容説明 ○年間授業内容・評価方法など	態	美術の創造活動に興味をもち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。
	■動き出しそうな動物たち ～生き生きとしたしぐさを表す～ 「銅板打ち出し」 (7時間)	動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどの特徴から主題を生み出し、形や色の濃淡、材料などの効果を考え、材料や用具の特性を生かして創造的にレリーフで表す。	○動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどから表現の主題を生み出す。 ○生き生きとした動きを表すための形や色の濃淡、材料などについて構想を練る。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、動き出しそうな動物の姿を追求しながらレリーフに表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、作品から受ける思いなどについて話し合う。	知 技	表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。
5 ・ 6	■浮世絵はすごい～構図や技法に着目する～ ■文化の出会いがもたらしたもの～ジャポニズムを通して考える～ 鑑賞 (2時間)	浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫について考えるなどの見方や感じ方を深める。	○浮世絵作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 ○出された意見を基に、構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴、作風や作品の印象などに着目しながら浮世絵の表現のよさや特性をまとめる。 ○制作者たちの意図と創造的な工夫について考え、美術文化の継承と創造などについて考えたことをまとめ、発表し合う。	知	構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。
				鑑	浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
				態	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7	■季節を楽しむ心 ～日本の美意識をとらえて～ (2時間)	生活に息づく美術の働きに関心を持ち、季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。	○和菓子や扇子などの自然や季節感を取り入れた日本の伝統美術や工芸品のよさや特性について理解する。 ○自然のよさや季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面を基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考えアイデアスケッチをする。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。	知	形や色彩などが自然や季節を感じさせる効果や、造形的な特徴などを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。
				発	季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。
				態	主体的に生活に息づく美術の働きなどを基に、季節感を表す構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。

第1回定期考査

7 ・ 8	<p>■その一枚が人を動かす ～イメージの力で伝える～ <1時間></p> <p>夏休み中の課題 ・ポスター</p>	<p>ポスターデザインに関心を持ち、伝えたい情報やイメージ、伝える場面を基に主題を生み出し、文字の形や色彩、構成、伝達効果などを考え、見通しを持ってデザインし表す。</p>	<p>○ポスターやブックカバーなどを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。</p> <p>○伝えたい情報や場面を見つけて主題を生み出し、発想方法を参考にしながら伝えたいことを効果的に伝えるデザインをアイデアスケッチする。</p> <p>○より印象深く伝えるために形や色彩、文字や画面構成に検討を加え、材料や用具の特性を生かして制作する。</p>	<p>知 技</p> <p>イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。</p> <p>絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>
	<p>■今を生きる私へ ～自分に向き合って表す～</p> <p>「自画像」 <10時間></p>	<p>自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫し表現する。</p>	<p>○自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら、自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す。</p> <p>○主題を基に構図や色彩などを試行錯誤し、創造的な構成を工夫して構想を練る。</p> <p>○材料などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。</p> <p>○自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、発表し合う。</p>	<p>知 技</p> <p>構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。</p>
	<p>■暮らしに息づく パブリックアート 鑑賞 <1時間></p> <p>第3回定期考査</p>			<p>発 鑑</p> <p>自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果や、造形的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
1 2 1 2	<p>■ジジジカピカ ポッポッパ ～空間に光を飾ろう～ <7時間></p>	<p>光や影の効果を生かしたデザインに関心を持ち、空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出し、光の形や色彩の変化、空間に与える印象などを捉え、見通しを持ってデザインし表す。</p>	<p>○自然光や人工的につくり出す光、またそれらによる影の様子などを鑑賞し、その効果や印象などについて感じたことを話し合う。</p> <p>○光がつくり出す空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出す。</p> <p>○主題を基に、光の色や影の効果を考えながらランプシェードなどを制作する。</p> <p>○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。合う。</p>	<p>知 技</p> <p>光の形や色彩の変化が感情にもたらす効果などを基に、空間に与える印象を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>
	<p>■暮らしやすさの デザイン <1時間></p> <p>第4回定期考査</p>			<p>発 鑑</p> <p>光がつくり出す空間の美しさを基に、使う場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて光の色や影の効果など調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。</p> <p>光がつくり出す空間の美しさや機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
	<p>■暮らしやすさの デザイン <1時間></p> <p>第4回定期考査</p>			<p>意</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光や影の効果を基に構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光がつくり出す空間の美しさや機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
3	<p>■水と筆を操る ～単色で多彩に表す～ <3時間></p>	<p>墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。</p>	<p>○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。</p> <p>○主題を基に、濃淡や線などの効果を考え、造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。</p>	<p>知 技</p> <p>水加減による濃淡や筆の運びによる線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨などの単色によりつくり出されるイメージを全体で捉えることを理解している。</p> <p>墨などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している</p>
				<p>発 鑑</p> <p>表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>
				<p>意</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨などの特性を基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>